

2023年8月28日

各 位

会 社 名 アシードホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 河 本 大 輔
(コード番号 9959 東証スタンダード)
問合せ先 取締役専務執行役員経営企画グループ 川 崎 弘 敬
(TEL. 084-923-5552)

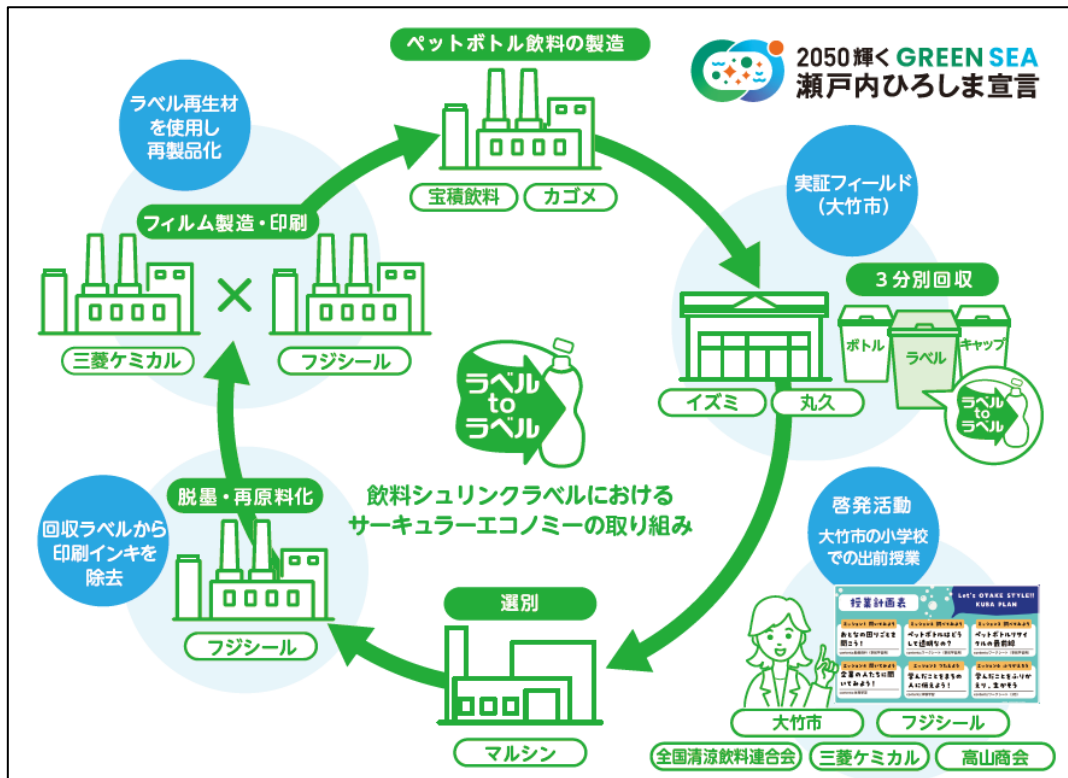
飲料ラベルの水平リサイクル実現に向けた資源循環モデルの構築について

当社の100%子会社である宝積飲料株式会社（本社：広島県東広島市、代表取締役社長：大戸章浩）は、広島県が公募した「令和5年度海洋プラスチック対策（プラスチック使用量削減等）・リーディングプロジェクト支援事業」に対して、2022年（令和4年）に三菱ケミカルグループ^{※1}が幹事会社として複数社と共同で提案し、2023年6月に採択された「飲料ラベルの水平リサイクル実現に向けた資源循環モデルの構築」（以下「本事業」）に参画することとなりましたのでお知らせいたします。

記

本事業は、2025年の社会実装に向けた飲料ラベル水平リサイクル、ならびに清涼飲料業界が2030年までに目指している「ボトル to ボトル」比率50%水平リサイクルを推進するにあたって、①消費者が「プラスチック資源の価値」を身近に感じる啓発活動を行い、消費者の意識・行動変容を促すとともに、②資源循環型（ラベル to ラベル）シュリンクラベル^{※2}を市場投入し、市中での回収スキームを確立させ、再ラベル化までの一連のプロセス（流通、回収、運搬、選別、再資源化）の検証を実施します。

実施にあたり、三菱ケミカルグループを幹事会社として、株式会社フジシール（本社：東京都千代田区）、宝積飲料株式会社、カゴメ株式会社（本社：名古屋市中区）、株式会社イズミ（本社：広島県広島市）、株式会社丸久（本社：山口県防府市）、株式会社高山商会（本社：神奈川県鎌倉市）、一般社団法人全国清涼飲料連合会（所在地：東京都千代田区）、株式会社マルシン（本社：広島県安芸高田市）、広島県、大竹市ら、産学官民の連携先とともに、技術確立と同時にそれを受け入れる社会の資源回収スキームの構築を目指します。



※1：三菱ケミカルグループは、三菱ケミカルグループ株式会社とそのグループ会社を指します。

※2：本実証で使用する資源循環型シュリンクラベルは、フジシールの印刷インキ剥離技術と三菱ケミカルグループの製膜技術を組み合わせて製造しています。

【会社概要】

会社名 宝積飲料株式会社
 代表者 代表取締役社長 大戸章浩
 住所 広島県東広島市志和町別府 2061 番地 3
 TEL 082-433-4959
 事業内容 各種ソフトドリンクや低アルコール飲料の企画開発・製造・販売
 製造品目 缶：250～500ml、ビン：160～275ml、ペットボトル：280～900ml

以上